

## 日本看護図書館協会 2009 年度 第 39 回研究会報告

2009年8月20日(木)21日(金)の2日にわたり、「看護図書館でパスファインダーをつくる！」をメインテーマに、愛知県立総合看護専門学校を会場として開催した。参加者数は、合計47名、内訳は、大学21名、短期大学4名、専門学校11名、公共図書館2名、その他9名であった。

今研究会では、図書館が提供する情報への道しるべとしてのツール、パスファインダーについて理解し、作成してみるということを目標に、講義、事例報告、演習を行った。講義においては、大変わかりやすくパスファインダーの歴史や定義について話していただき、パスファインダー作成のポリシーやポイントについて理解することができた。事例報告では、まず、広報誌におけるテーマ別資料案内作成の実践について、パスファインダー作成の前提になるような事例を紹介していただくことができた。続いて、大学図書館でのパスファインダー作成において、特に実習のためのパスファインダーを教員と連携して作成している事例を報告していただき、作成の手順や役割分担などについて具体的な示唆をいただいた。最後に、大学図書館と公共図書館との共同作成事例について報告していただき、作成の実際や連携に至るきっかけなどについて報告していただいた。いずれの事例報告も館種を超えて参加者に好評であった。その後、会場をパソコン室に移動して演習を行った。最初に演習作業について手ほどきをしていただき、参加者を2~3人一組でグループ分けし、事前をお願いしておいた課題と、インターネットや文献検索データベースを利用して、パスファインダー雛形をもとに、グループで協力してパスファインダーを作成した。作成においては、会場校の図書室を演習のためにご提供いただき、実際に資料を手にとって作成することができた。演習の最後には、グループごとに作成したパスファインダーを発表し、それぞれのグループの成果を共有することができた。

2日目の午後からは、「看護図書館をとりまく電子メディア」をもう1つのテーマとして、『最新看護索引Web』と『PierOnline』について紹介していただき、演習を実施した。参加者は実際にそれぞれのデータベースを検索することができ、大変有益であった。

研究会全般に対する参加者の評価は、アンケート(回収率75%)によると、「大変有意義だった」が80.0%、「有意義だった」が16.7%、無回答3.3%とおおむね高評価をいただいた。この評価は、講

師の皆様のすばらしい発表や講義、充実した施設をご提供いただいた会場校の皆様のあたたかいおもてなしとお心配りのおかげと大変感謝している。また、途中、当方の不手際があり、参加者の皆様にはご迷惑をおかけしたが、ご理解、ご協力をいただいたことに、この場を借りて御礼申し上げます。

### プログラム

#### 8月20日(木)

12:30~13:00 受付

13:00~13:15 開会挨拶・事務連絡

会長挨拶

日本赤十字豊田看護大学図書館長 石黒士雄  
会場校挨拶

愛知県立総合看護専門学校長 大場雪  
教育・研究担当理事挨拶

京都府立医科大学附属図書館 枚田眞紀子

13:15~14:00 パスファインダーを知ろう

愛知医科大学医学情報センター 市川美智子

14:00~14:45 パスファインダーに関する事例報告

1) 広報誌「図書室だより」でのテーマ別資料案内

愛知県立総合看護専門学校図書室 森下琴江

2) パスファインダー作成と活用への試み

大阪府立大学羽曳野図書センター 小池利栄子

3) 公共図書館との共同作成事例

愛知医科大学医学情報センター 浅井伸夫

14:45~15:00 休憩・講義棟へ移動

15:00~15:30 パスファインダー作成の手ほどき

愛知医科大学医学情報センター

浅井伸夫 榊原佐知子 市川美智子

15:30~17:15 パスファインダー作成演習

17:15~ 懇親会場へ移動

18:00~20:00 懇親会

#### 8月21日(金)

9:00~9:30 受付・企業展示

9:30~11:00 演習の成果発表準備

11:00~12:00 発表・質疑応答

12:00~13:30 昼食休憩・図書館見学・企業展示

13:30~15:00 看護図書館をとりまく電子メディア

1) 最新看護索引 Web を使ってみよう!

日本看護協会看護教育研究センター図書館  
今泉千代

2) 看護系和雑誌の電子ジャーナル化の動向

株式会社サンメディア 松下茂

15:00~15:15 閉会挨拶

教育・研究担当理事挨拶

京都府立医科大学附属図書館 枚田眞紀子  
会場校挨拶

愛知県立総合看護専門学校長 大場雪